

個別の指導計画・教育支援計画・生徒指導要録の関連

○生徒指導要録との関連

	主な学習内容	目標	学びの様子
社会	身近な地域、地図の見方、北海道の成り立ち、日本の災害と防災、豆知識クイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を活用し、必要な情報を探す。 ・北海道の自然や地形の特徴をおおよそ理解し、地図に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて、地図帳の所定のページから地図記号や北海道の地形など、求められている情報を探すことができました。 ・学習グループごとに大きな北海道地図の作成に取り組みました。地図帳で場所等を確認し、見比べながら、山や川を書き込めることができました。
	<主体的に学習に取り組む態度>		<ul style="list-style-type: none"> ・全体への説明をおおむね理解して取り組んでいました。分からないことがあったときには自分から質問や確認をすることができました。
	※学習への取り組み状況全体を通じて評価		

札幌福祉高等支援学校
指導要録 指導の記録
2023年度
令和5年度(2023年度)第1学年

各教科・特別支援	指導の記録
国語	
社会	<p>課題に応じて、地図帳の所定のページから地図記号や北海道の地形など、求められている情報を探すことができました。</p> <p>学習グループごとに大きな北海道地図の作成に取り組みました。地図帳で場所等を確認しながら、山や川を書き込めることができました。</p>
数学	
理科	

文末表現は訂正が必要。
「～できました。」
⇒「～できた。」で統一する。

記載の内容によっては、「～(学習内容)では」と付ける必要がある。

転記するのは2観点の評価。「主体的に取り組む態度」の評価は転記しません。

前期・後期どちらの評価を選んで構いません。

専門 教科	作業学習
その他	<外国語> <情報> <p>外国語／情報の2教科について入力するスペースなので、評価を一つ選んでください。(どちらの観点でもよいです)</p>
特別 活動	<p>※特別活動は「生徒会活動」「遠足」「宿泊研修」「見学旅行」「ホームルーム活動」のいずれかの内容を入力する。学年ごとに違う内容にするようにして下さい。</p>
自立 活動	<p>※自立活動は、個別計に文字数制限を設ける予定はありません。担任が内容をまとめて入力して下さい。</p>
総授 業時 数	□

※観点は共通のものです。

※学年ごとに3観点の評価を記載します。個別計では100文字制限の設定をしますが、全てコピーするとすぐに欄が埋まってしまうので、簡潔にまとめ直して記載することになります。

総合的な探究の時間の記録		
学習活動	観 点	評 価
<第1学年> ルールとマナー 家庭生活 現場実習事前、事後学習	<知識・技能> ・課題の見見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ・課題解決の意義や価値がわかる。	<第1学年> ・○○で～～ができた。 ・●●で△△ができた。 ・▲▲で○○ができた。
<第2学年> 自己受容、他者受容 心とからだ 18歳成人に向けて 現場実習事前、事後学習	<思考・判断・表現> ・自己の課題を適切に捉え、解決への情報収集、整理、分析ができる。 ・探求の成果についてまとめ、表現、発表する。	<第2学年> ・○○で～～ができた。 ・●●で△△ができた。 ・▲▲で○○ができた。
<第3学年> 自己選択、自己決定 社会生活	<主体的に学習に取り組む態度> ・他者や社会とのよりよい関わりを実現するために継続して取り組む。	<第3学年> ・○○で～～ができた。 ・●●で△△ができた。 ・▲▲で○○ができた。



- (総合的な探究の時間の記録)
- 「学習活動」と「評価」が学年ごとにかみ合う内容であるか確認する。
- 学習活動欄に記載がない活動の評価は評価欄に記載できません。

特別の教科 道徳	
学習状況及び道徳性に係る成長の様子	
令和5年度 (2023年度) 第1学年	<div data-bbox="459 488 1358 734" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>道徳は個別計評価（前期・後期の両方）を転記する。字数は747文字あるので余裕です。前期・後期合わせて747文字以上になった場合は、枠におさまりません。前期か後期、どちらかを選んで転記して下さい。</p> </div>

留意点

- 要録には「できた」ことを記載する。
- 個別計から転記（コピー）するとき、文末表現のみ訂正が必要（「～です。」「～ます。」⇒「～できた。」などに訂正）
- 個別計では、数字評価を表す視点である「手立て」と「できたこと」を簡潔に表現する。個別計の文末を「～できました」にしておくと、要録に転記しやすい。
- 転記する評価を選ぶとき（前期か後期か）前年度の記載と内容がかぶらないようにする。（要録では、年度ごとにステップアップしていることが基本となっているため、同じ内容の記載は避ける）
- 出席実績がなく、個別計で各教科の評価ができない場合は、要録には登校したときの様子から教科に関連した内容をピックアップして記載することになる（担任中心）。
- 出席日数が少ない場合には、個別計では、出席したときの内容に合わせた目標に変更して評価を記載したり、出席したときの学びの様子を記載したりするなど、何らかの記載がある方が望ましい。